

令和6年度平戸市一般会計補正予算(第5号)中、社会体育施設改修事業
ライフカントリー多目的グラウンド横の法面対策工事を実施

事業概要

総合運動公園ライフカントリー多目的グラウンド横の法面崩落などに伴う対策工事をを行うもの。

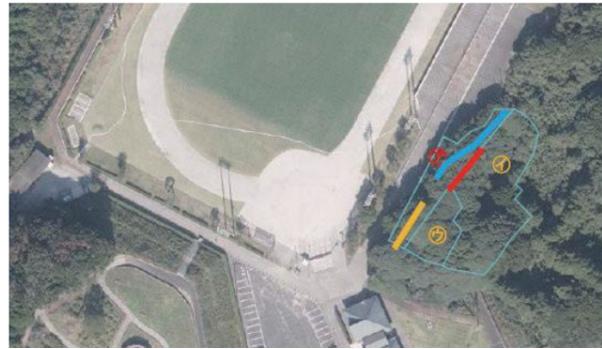
工事概要

法面対策工事、フェンス設置

委員会での主な論議 (産業建設文教委員会)

Q 法面崩落の要因は、市有地と民地のどちらか。また、どのような対策を行うのか。

A 市有地から民地にかけて崩落し土砂が流れ込んでいる。対策は、市有地と民地の境目に石積みし、法面の崩落を抑える工事を計画している。



⑦：市有地 ⑧及び⑨：民地
①法面対策 ②フェンス ③フェンス

意見 フェンス設置については、子どもたちの安全が保たれるような施工をお願いしたい。

A 利用者の安全を第一に考え、現場を確認し必要があれば対策を行っていく。

令和6年度平戸市一般会計補正予算(第7号)中、林道整備事業
会計検査院からの指摘を踏まえ、落石防止網の補強工事を実施

事業概要

令和4年度に実施した「林道宇戸線落石防止工事」について、会計検査院による実地検査の結果、「施工している落石防止網では必要とされる安全率を下回っており、安全が確保されておらず工事の目的を達成していない」と指摘を受けたことを踏まえ追加の補強工事をを行うもの。

委員会での主な論議 (産業建設文教委員会)

Q 指摘箇所は(工事の目的を達成していない不当事項とされたことを踏まえ)国庫補助金を返還する必要はないのか。

A 本来ならば、不当と指摘を受けた国庫補助金は国に返還する必要があるが、今回の補正予算において補強工事をを行うことで、既存の落石防止網の安全性が確保されることから、返還の必要はないと聞いている。



Q 今後こういった事態が起こらないための対策は考えているのか。

A 林道などの落石対策工事については、国が示している指針を再確認するとともに、専門のコンサルタント業者に設計委託を行うなど、再発防止に取り組んでいく。



今期市議会ここに注目!

令和6年11月
臨時会
(11月13日)



令和6年12月
定例会
(12月2日~17日)



二次元コードから委員長報告全文をご覧いただけます。

市有財産の無償譲渡について

関連 平戸市シルバーワークプラザ条例の廃止について
シルバーワークプラザを(公社)平戸市シルバー人材センターに無償譲渡

提案理由

現在指定管理施設となっている平戸市シルバーワークプラザ(鏡川町)について、令和7年4月1日付で(公社)平戸市シルバー人材センターに無償譲渡を行うため、議会の議決を求めるとともに、関連する設置条例の廃止を行うもの。



シルバーワークプラザ(外観)

委員会での主な論議 (総務厚生委員会)

Q 土地については無償貸与の予定とのことだが、どのような理由からか。

A 建物は、公共施設等総合管理計画において本施設の譲渡を踏まえた方向性が示され、相手方と協議の結果、令和6年度中に修繕を行った上で譲渡することとしたが、土地は、相手方からすると固定資産税の負担増や管理の問題から貸付となった。市としても所在地の状況を鑑みれば、将来的な土地利用度は高いと判断した。

Q シルバー人材センターの会員も減少傾向の中、今後の施設運営を危惧するがどのように考えているのか。

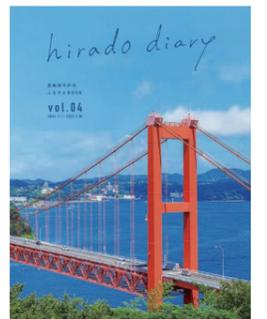
A 会員減少に伴い、今後経営状況は厳しくなることも考えられるが、現状、法人としては、国・市の運営支援を受けながら黒字運営であり、引き続き健全な運営に努めてもらえれば施設の修繕・更新も含め事業継続できるものと考えている。

令和6年度平戸市一般会計補正予算(第7号)中、ふるさと応援寄附金推進業務
今後、ふるさと応援寄附金が増えるような方策を

事業概要

ふるさと納税制度を活用した「やらんば!平戸」応援寄附金Webサイト運営や返礼品事業者の開拓、寄附受付などの業務を民間事業者に委託するもの。(令和7年~令和10年度にかけ、2億5,800万円を限度とする※債務負担行為を設定)

※債務負担行為…契約などで発生する翌年度以降の債務の負担を、あらかじめ当年度に定めておくこと。実際の支出時には改めて歳出予算への計上が必要。



委員会での主な論議 (総務厚生委員会)

Q 寄附金は微増しているものの最も多かった年度の3分の1程度である。今後、寄附金が増える見込みはあるのか。

A 返礼品は約600種類だったものが、当該業務委託後は約1,600種類に増えるなど、委託業者も努力している。新商品開発とともに、寄附金が増えるような方策も考え取り組んでいきたい。